

治療した部位と治療方法

1 問診診察結果（ビニール製ボールハウス）

- (1) 依頼者がいっぱいテープを貼っていて、どこから漏れているか分からない。
- (2) 物が大きいので、水につけて調べる場所も無い。
- (3) 浮き輪等安全に関するものは受付診察はしないが、このものは受付をした。

2 治療の方法

- (1) 数えるのを忘れていたが、空気を入れる場所が、6箇所はあったと思う。
空気入れ機をこの入れ口に合うように改造して、全部の箇所に空気を入れた。
- (2) しばらく放置しておく、空気が抜けた部分が特定できた。
一つの空気入れ穴で、3方向に空気が入る箇所であったため、更に漏れる箇所を探した。
- (3) 孫のために買っていた、シャボン玉の液を筆につけて、怪しそうな場所へつけて調べた。
漏れていた場所は、図-1の箇所でした。

図-1



- (3) 場所は分かったが、同質の貼る材料が見つからない。試したのが、黒色のビニールテープの粘着剤が着いていない表面(粘着面を折り曲げて必要な長さにして)に「軟質演歌ビニール・塩ビレザー」のボンドを両面につけて張り合わせた。

図-2



貼り合わせた後、板をあてクリップで圧する

図-3



直った遊具で遊ぶ依頼者の子ども

3 ドクターのアドバイス

製品の剤質に適合するボンドを選ぶことが大事だと思います。

お渡しした日： 平成28年2月13日

担当ドクター： 谷 春 雄